



酷暑の候、地元の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。梅雨が明けた途端本格的な夏がやってきて猛暑な日々が続いておりますが、体調にはくれぐれもお気をつけて下さい。また、日頃より石見橋修繕工事におきまして、ご協力大変ありがとうございます。

工事も地元の皆様のご協力のおかげで順調に進んでおります。7月度の施工としては、昭和47年に架設した鋼製のけたを今の設計基準に見合う強度になるように補強する作業が主体となりほぼ完了となります。8月は盆休みをはさみ新しい床版の型枠工事が主体となって行きます。

工事の施工状況

製品の仕上り状態を検査しています。



橋梁補強部材は(株)鉄建ブリッジの工場で作りました。



再利用する主桁のサビ落とし、スタッドジベル設置前の大事な作業です。

スタッドジベルは専用の溶接用ガンを用いて、高電力を瞬間に流し高強度に溶着します。



暑くても保護具は完全着用でこまめな休憩を取ります。



溶着が完了しました。このいぼいぼでコンクリート床版と一体となります。



主桁全面にスタッドジベルを1548本取付けています。



サビはその都度丁寧に落します

最後の仕上げは防錆塗装です。



7月度の協力業者 (株)ヤマサ (橋梁補修全体) (株)鉄建建設ブリッジ (補強部材制作・スタッドジベル設置) (株)協和塗装 (現場塗装) waseno興業 (補強材撤去・設置)

石見橋周辺のドローンによる空撮写真

水田のお米も順調に育って、もうすぐ稲穂が育まれそうです。



写真で見ると先月とあまり変わらないようですが、鋼けた部分の補強が進んでいます。上の床版を支える準備があと少し（工場で制作した補強部材を取付（5日からの予定）で補強完了となり益休みとなります。

